



これからの守山について

たけむらしげかず

竹村茂一 輸出玩具三代目

私は守山に在住し、初代が生まれ育ったこのまちで輸出玩具を創業し、親子3代にわたり事業を守り続け、次世代につなごうとしています。守山市は自然環境に恵まれ住みやすく、地の利にも恵まれています。この守山の風土から生まれてくるアイデアで、国内だけでなく欧米はじめアジアの国々へ守山の文化の息吹いている商品をお届けできるよう努力しています。これからもひと・まちが笑顔で活気に満ちた守山市を次の世代にバトンタッチし、心があたたかくなる商品づくりと末広がりなまちになっていくよう市民の一人として、また企業人として願っています。



安心して過ごせる居場所を

やまかわ なな

山川那奈 子育て世代

子育て世代に住みよいまちづくりを考えていく中で、私は「子ども達が安心して過ごせる居場所づくり」が大切であると思っています。それは学校や家庭はもちろんですが、地域・まち全体で子ども達を見守る仕組みづくり。例えば、徒歩圏内に子どもや地域の様々な世代が楽しく集える魅力あるスペースを作るのもひとつだと思います。人と人が年齢を超えてつながることで、互いを見守り支え合うことができる。そんなあたたかいまちになれば素敵だと思い、それを守山に期待します。



勝部火まつりを継ぐために

いしだしょうた

石田翔大 松明組組長

勝部で生まれ育ち、当たり前のように松明組に入って約20年になります。当時は1月8日と決まっていた若衆や見物客の参加しやすい第2土曜日に変わるのに何年も話し合いが続いたのを覚えています。守るのも変えるのも大変な伝統行事「火まつり」ですが、集まった作業は楽しくて苦勞を感じたことはありません。火まつりの知名度がもっと上がって、若衆にとって参加することが自慢になるような松明組をめざしていきたいと思っています。



守山という街が大好き

きただきんや

北田欽也 電器店三代目

私は、守山という街が大好きです。普段から守山にお住まいのお客様の人柄に接し、生活に触れながら商売をさせていただいています。また、様々なイベントや街づくりの活動においても多くの人とつながりを感じています。そんな中で思うのは、守山が好きなのは、そこに住む人間が好きなんだということです。これからも、守山に住む多くの皆さんとのふれあいの中で生きていければ『最幸』です。



「街+田舎=天国」

ジョーリー

Joan lee 竹籠愛好家(在住外国人)

守山に引っ越す前、主人より「守山は田舎」だと聞いていました。それから3年間守山に住み、今では「街+田舎=天国」だと感じています。

これから未来に向け市として、またサイクリングの観光地としてますますの発展(高層ビルは少な目をお願いしたい)を遂げられることを願います。歴史ある名所、特に守山の宝、近江妙蓮公園はもっと発信してほしい!

「守」今を守り「山」美しい景観を残す街でありますよう……。



あたたかい、帰る場所

さごいまりこ

佐合井マリ子 歌手

私にとって守山はとっておきのあたたかい、帰る場所です。家から一歩出ると、近所の人たちが散歩をしていたり庭に洗濯物を干していたり、はたまた田畑への行き帰り途中の人もいたり。そのほとんどの顔を知っていて、当たり前のように声を掛け合います。まるで町中が家族。そんな愛に包まれた日々の中、音楽に出会い表現することの素晴らしさを知りました。ずーっと変わらない人、愛、そして町、あたたかな匂い。そんな守山を誇りに思います。



高齢者が輝くまちに

なかがわともひろ

中川知博 NPO法人経営支援リエゾンオフィス理事長

NPO法人を立ち上げて17年になります。そのきっかけは、高齢者の社会貢献です。私自身が60歳で息子に事業(会計事務所)をバトンタッチしたので、余生は何か社会に貢献したいと考えていました。

まず最初は、守山市民交流センターの指定管理人に認定されました。その後、守山市が公募した高齢者の居場所づくり事業に応募し、「まほろばの郷」を開設しました。現在は学童保育も併設。いずれの施設も順調に、高齢者が運営を担い、生き生きと輝き続けています。



地域愛が好循環をもたらす

たかもとよみ

高本豊美 紙しばい文化の会

絵本の読み聞かせ活動や紙芝居をしていて、思うことがある。私の親世代以上の方が非常に意欲的で情熱がある、ということ。尊敬の念の中、思いをめぐらしてみた。私がたどりついたのは、地域愛というキーワードだ。文化や伝統というものは、親から子へ、子から孫へと受け継がれるものである。でも、守山の場合、それが家族単位だけでなく、地域単位で行われているのではないかなと思う。この循環が絶えずずっと続いていく守山であってほしい。



仏教を取り巻く事情が大きく変化

みくりとくゆう 御厨得雄 浄土真宗本願寺派 慶先寺前住職

物質文明の進展により、守山市とともに歩んできたこの50年間で生活環境は大きく変貌した。人付き合いは希薄になり、冠婚葬祭も縮小傾向にある。特に葬儀形態は様変わりし、さらに若い世代の仏教離れが進んでいる。家庭での法事や寺院での法要の参詣者も減少している。そんな中、お寺の法要では新しい取り組みも始まっている。音楽法要や法話、スライドを使っての法話など、視聴覚に訴え、解りやすく、親しみある法座に。果たして起死回生の逆転打となるか。乞うご期待！



他のスカウトとは姉妹です

かくちようこ 角地要子 ガールスカウトリーダー

私も一人っ子だったはずの娘もガールスカウトで大切なお姉ちゃんや妹に出会いました。まだまだ子育て途中。ガールスカウトの仲間や地域の人、多くの人のつながりに甘えたり、励まされたり、子育ての先輩として助けられたりしています。ザリガニが捕まえられる小川の流れや通りがかりの「とれたか〜」の声がかかる優しい見守りが、守山ですとが続くことを願っています。



昔ながらの手法の継承を願う

つじ まもる 辻 衛 ういろう製造・販売

当店は、明治末より和菓子店を営み、特にういろう（外郎）の製造、販売に努力してまいりました。現在でも、昔ながらの手こね、手切りと同じ方法で製造しております。この守山の地で、これからも末永く、守山の文化として継承されて行くことを、そしてこれからの守山が働きやすい、住みやすい守山として発展していくことを願います。



住んでよかったと言えるまちづくりへの参画

こんのひろこ 金野弘子 子育て支援

守山市に住まいして、ちょうど50年を迎えます。私の人生は、守山市制とともに歩んできたと言っても過言ではありません。その間、結婚、そして、子育てをするなかで、各種団体や地域で高齢者の居場所づくりや子育て支援に取り組み、今も継続中です。こうした活動を通じた人との出会いやふれあいは私の生きがい、心の糧になっています。これから人がいきいきと輝き、守山市に住んでよかったと言えるまちづくりに参画していきたいと思っています。



スポーツには無限の力がある

きたむらかずたか

北村和孝 守山市スポーツ少年団本部長

半世紀にわたり、「まちづくり」「人づくり」「環境づくり」をめざし、歴代の市長様をはじめ、関係各位の皆様のごこれまでの努力に感謝いたします。

従来より、スポーツは健康の保持・増進や体力の向上を図ると共に、家庭や地域の絆を深め、明るく豊かで活力に満ちた社会形成に大きな役割を果たしてきておりました。

人生100年時代に入り、「住みやすいまち」守山市にするためにも、「人づくり」が今後必要不可欠であろうと思います。子どもから高齢者までが、健康で生涯スポーツのできる環境づくりも必要となっております。スポーツは学問と同じくらい人間にとって価値のあることであり、精神や肉体の両面から人間を構築する素晴らしいがあります。スポーツを好きになってもらい生涯にわたり楽しんで実践していくことが、スポーツ社会の大きな力になりうると思います。



若い力で守山を楽しめるまちに

かわまつ ゆみ

川松有美 もりやま青年団

私たちもりやま青年団は、守山市に在住・在勤の若者が集まり、自分達が本当にやりたいこと、楽しめることをモットーに、活動しています。

青年団活動に関わっていると、気づかなかった守山の魅力や、人のあたたかさを感じることが多くあります。

これからも、「守山が好き」、「やっぱり守山っていいな」と言える人が増えるようなきっかけづくりを、若い力で作っていきます！



赤十字の信条を次世代へ

かし としえ

岸年江 赤十字奉仕団

守山に居住して50年余り、少しでも地域のお役にいと赤十字活動に身を寄せ、公共施設、高齢者の友愛訪問、災害募金、血液啓発、勤労奉仕、炊き出し、救急救命講習などに関わってきました。これらの活動が地域住民とつながり、防災の備えとなり、自分自身の学びの場ともなっています。今は、高齢者が高齢者を見守る状況にあります。赤十字の信条人々の幸せを願いのもと、先輩が築いてこられた歴史と伝統を、若い世代に引き継いでいきたいと思っています。



神事に残る素敵な風土

かつみのりこ こじのねぎ
勝見典子 己爾乃神社禰宜

わが家は天智天皇の時代から14代続く世家でして、明治時代からは守山市速野学区に鎮座します七つの神社の神職を、現在は主人と共に務めさせて頂いております。神事にはその神社にしかない特殊なお祭りもあり、速野の神社にも『硫黄夜祭』『菜蒔盆祭』など、その地の歴史を学び地域の文化に触れられる素敵な風土がございます。今後ますます発展してゆく守山市が、このような日本の古き良き伝統文化を次世代にも継承できる素晴らしい街でありますことを心から願います。



次世代に愛されるまちづくりを

いしがみ りょう
石上 僚 みらいもりやま21ゼネラルマネージャー

私は今の仕事に出会って、10年前に初めて守山の地にやってきました。当時は独身でしたが、今では結婚し、勝部に家を建て、2人の子どもの父親になりました。昨年、墓も建立したので、文字通り守山に骨を埋めることとなります。私は今の仕事を通じて、守山を郷土として愛するようになりました。次は自分の子どもはもちろん、これからの守山を担う若い世代にそう思うようになってもらえる「まちづくり」を目指して、日々邁進していきたいと思っております。



びわこ地球市民の森づくりへの参画

よしもと しなぞう
葎本支那造 (株)葎本段ボール会長

私は57年前この守山で起業し、地元住民に支えていただき、今日に至っています。代表取締役から身を退き、のち、やさやかな恩返しにと近くの地球市民の森に「四季桜」を植えようと思い「四季桜を育てる会」を創設。多くの方々の協力を得て、若木、苗木が植樹できました。今までに120本以上植えることがかなえられ、今後も地球市民の森が市民に広く親しまれるように願いを込め、「千本桜」の構想実現の為、努力を重ねてまいります。



和ハーブで暮らしを豊かに

いりよし のぶ
井入吉信 井入農園

守山で生まれ育ち、自立するまでの自分を育ててくれた井入農園の後継を決意して3年が経とうとしています。システムエンジニアだった頃、手掛けた仕事から生まれたお客様の笑顔でやり甲斐を感じていたように、今では農業で同じ感動を賞えています。農園では、花の苗や野菜の苗、季節の野菜を生産しています。最近では「和ハーブ」という新しいジャンルの栽培に挑戦し、その有用性を広める活動をしています。和ハーブとは、古くから日本人の暮らしを支えてきた日本のハーブのこと。人の身体と土地は切り離せない関係にあるという「身土不二」。和ハーブのように、地元守山で育った農産物で私たちは支えられているという素晴らしさを多くの人に伝えることで、守山での暮らしが豊かなものになるよう願っています。